

ユネスコ創造都市ネットワーク加盟・第39回坪田譲治文学賞記念 企画展「坪田譲治 文学が生まれた風土」を開催します

岡山市は昨年、文学の分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟を認められました。そこで岡山市主催の坪田譲治文学賞の発表時期にあわせて、岡山市出身の文学者で、児童文学に顕著な業績を残した坪田譲治の資料を、作品の舞台となった岡山の農村の風土を背景に紹介します。

1 日時

令和6年2月8日(木)～3月17日(日) 毎週月曜日は休館(ただし2月12日は開館)
開館時間 10時～18時(木曜日は11時～19時)

2 場所

岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール前 展示コーナー(北区二日市町) 入場無料

3 内容

・坪田譲治は、明治 23 年(1889)に岡山近郊の御野郡石井村大字島田(現在の岡山市北区島田本町)で生まれ、幼少期を過ごしました。

・彼は大学進学を機に東京へ移って以後の生涯の多くを過ごし、児童文学の分野を中心に優れた作品を残しましたが、その中には故郷の農村で過ごした体験が息づき、魅力となっています。

・そこで岡山市立中央図書館の所蔵品から、坪田譲治の資料(生家の瓦と写真、故郷を描いた作品の初版本等)と、岡山の農村集落の特徴がうかがわれる資料(絵図等)を、約 30 点展示します。

4 その他

関連講座「用水路がめぐる岡山の村落と景観」

日時 令和6年2月11日(祝・日) 14時～16時

会場 岡山市立中央図書館 2階視聴覚ホール 先着60名(申込不要) 聴講無料

講師 飯島章仁(当館学芸副専門監)



文学創造都市 おかやま

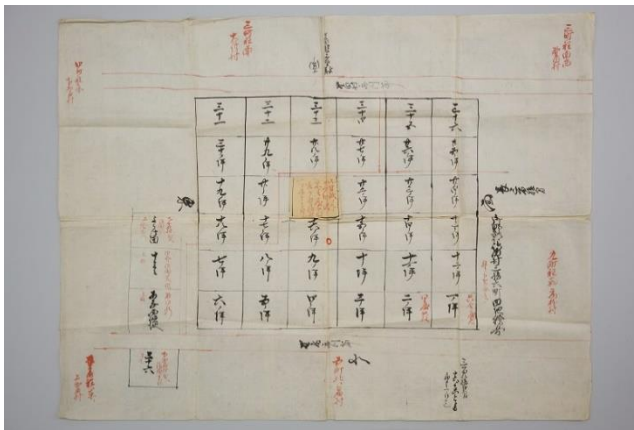
【問い合わせ先】

岡山市立中央図書館 飯島・沖田 直通086-223-3373

おもな展示品



生家の前に立つ坪田譲治(昭和30年)



江戸時代の御野郡島田村の絵図(享保年間)

耕地を方形に揃える古代の条里制(じょうりせい)で土地が区画されています。



河溝堤塘等取調絵図(上中野村、明治期)

岡山平野の農村の特徴は発達した用水路です。坪田譲治の作品にも、村の小川や用水路でフナやカニを捕らえた少年時代の思い出がしばしば登場します。